

## 第4回立教大学諮問委員会記録

日 時：2015年2月13日（金）14：00～17：00

場 所：池袋キャンパス太刀川記念館2階会議室

出席者：＜委員＞ 林良造（東京大学公共政策大学院教授、明治大学国際総合研究所長）

橋フクシマ咲江（G&S Global Advisors Inc. 代表取締役社長）

佐々木順子（株式会社WEIC 経営企画室長）

Sergio Inclan（在日メキシコ大使館経済省公使）

中村富安（独立行政法人日本貿易振興機構理事）

＜大学＞ 吉岡知哉（総長）、白石典義（統括副総長）、西原廉太（副総長）、  
加藤睦（副総長）、原田久（副総長）、塚本伸一（副総長）、西田邦  
昭（副総長）、東條吉純（総長室長）、松井秀征（次期総長室長）

### 1. 第3回諮問委員会での提言に対する対応状況

標記について、白石統括副総長より第3回諮問委員会で提起された提言への対応状況が以下の内容で報告がなされた。

- (1) 国際化：アピールポイントを明確に 留学生の中にスターを作る
- (2) リベラルアーツ教育：専門性を身につける前に、土台となる教養を身につける
- (3) 校友との連携：校友とのつながりを強化
- (4) 学生募集：多様な学生を確保するための工夫
- (5) 一貫連携教育：一貫連携教育の充実とアピール

### 2. 2015年度大学行動計画等

標記について、吉岡総長より以下の点について「2015年度立教大学行動計画」を基に、今後の目標等について報告がなされた。

- (1) 国際化 (2) 教育 (3) 入試 (4) 学生支援・キャリア支援・就職支援
- (5) 研究推進 (6) 社会連携活動・教育、校友との連携 (7) 施設整備計画の推進
- (8) 職員組織 (9) 教学のガバナンス体制の構築と財政改革

### 3. 国際化推進の取り組み

標記について、白石統括副総長より以下の点について、今後の国際化推進の取組に関する報告がなされた。

- (1) 立教大学の国際化 スーパーグローバル大学創成支援（SGU）の構想
- (2) 入試改革の方向性

<諮問委員からの意見>

- ・国際化の方針について大きく前進している。グローバルに関する確かつ具体的な構想であり、立教大学の一つのビジョンになっている。数字も具体的であり評価できる。どのような人材を育てたいかが明確に定義してある点も評価できる。

#### 4. 2015年度以降の課題 [諮問委員からの提言]

##### 短期的課題

###### (1) 国際化関連の課題

- ・構想における「サービスマナー」および聖公会ネットワークによる「リベラルアーツ」は、立教らしいものであり積極的取組みを期待したい。
- ・グローバル・マインドを持った個人を育成するには、グローバル・マインドを持った教職員が必要であり、大学全ての環境を相応しい形にすることが必要である。
- ・小学校から大学までの一貫したグローバル人材育成という取組みにすべきである。人間教育も含めグローバルで活躍できる人材を育てる一貫教育は魅力ある取組みとなる。
- ・大学全体がグローバルな課題にかかわっている姿勢や実践は、立教大学にとり学生が自分の将来を考える材料が詰まった「ポートフォリオ」になる。実施には達成期限に拘らずスピード感を持ちできることからスタートさせ、学生にとり国際化が進んでいる実感が持てるプログラムにしてほしい。

###### (2) 全般的課題

- ・多様な環境を設け、様々な困難を乗り越えることが疑似体験できるような経験を提供することが、事業のコアの部分であり実践してほしい。
- ・思考力、変革力、協働力の三つの要素を兼ね備えたリーダーとなる人材の育成を実践してほしい。
- ・研究費の流用を防止する仕組みづくりを構築してほしい。

##### 中・長期的課題

###### (1) 国際化関連の課題

- ・「立教はこのことには強い」「立教でなければできないもの」という何かを見つけることが大切。
- ・立教として多義的であるグローバリゼーションをどう捉えるのかを明確にする必要がある。
- ・GLAP (Global Liberal Arts Program) はリベラルアーツの一つのコアだと思う。それを教えられる人がどれだけ育てていけるかが大切。

###### (2) 全般的課題

- ・今後 10 年、20 年を見通したときに、立教大学としての不変の哲学を持ちながら、環境変化に柔軟に対応することが重要。

- ・学生が夢や希望を抱けることは重要だ。4年間で何かをやり遂げるという経験を学生が持てるようにすることが大切。
- ・卒業生が愛校心を持つことは経営的観点からも重要。再就職への対応、社会人講座でスキルを修得できる場を設ける等、卒業後も大学が活用される仕組みづくりを検討してほしい。

以上